

令和元年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 商工部産業育成課

施設名	弘前市伝統産業会館
施設の設置目的	津軽塗等、市の伝統産業の振興を図るとともに、市民の交流活動の場を提供するための施設
所在地	弘前市大字神田二丁目4-9
指定管理者名	弘前市伝統産業会館管理運営委員会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	計画どおり実施している。
2 自主事業の実施状況	自主事業の実績なし。
3 市民サービス向上のための取組状況	会館内の小破損・修繕は速やかに実施するなど、良好な施設環境の維持に努めている。
4 市民ニーズの把握の実施状況	利用者アンケートを行い、運営に反映させるように努めている。
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	令和元年度の年間利用人数は1,941人となり、目標値である1,235人を上回った。
6 指定管理業務の収支状況	収支の管理は適正であり成果指標も達成しているが、利用料金収入が低いため、さらなる利用率向上の取り組みが必要である。

7 実地調査の結果

施設の管理・運営は適正に実施されている。また、施設利用案内等の周知も行っており、おおむね適正である。

8 成果指標の達成度

- ・目標値 年間利用人数:1,235人
- ・令和元年度利用人数1,941人
- ・達成度157.2%(実績1,941人/目標値1,235人)

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	法令等の遵守に努めている	
施設の管理	B	施設の維持管理に注意を払っている	
経理の状況	C	経費の削減に努めているが、利用料金収入のみでの運営が困難となっている。	さらなる利用率の向上が課題
団体の財務状況	B	利用料金収入の他に津軽塗団体からの出資金があるため、現在は安定した経済的基盤を有している。	

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	法令等の遵守に努めている	
施設の管理	B	施設の維持管理に注意を払っている	
経理の状況	C	経費の削減に努めているが、利用料金制を導入しているため、より利用率の向上に努める必要がある	さらなる利用率の向上が課題
団体の財務状況	B	利用料金収入の他に津軽塗団体からの出資金があるため、現在は安定した経済的基盤を有している。	

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する